

基本的に男性は少なからず有りかも

多くの男性にとって母親は「最初の女性」であり、無意識に理想や基準として投影されるため、年齢や自立度を問わず「母親を大切に思う心理」が根底に残りやすいと言えます。

① 「善」のマザコン（母親思い）

精神的に自立しつつも、産み育ててくれた母親に深い感謝と敬意を抱いているタイプです。「お母さんは自分が守る」という自負があり、家族やパートナーも大切にできるため、一般的に「親孝行で誠実」とポジティブに受け止められることが多い形です。すべての男性が母親に依存しているわけではありませんが、大なり小なり「母親に対する特別な感情」を抱えていることは、多くの心理学的・社会的な見解で共通しています。

② 「悪」のマザコン（依存型）

自分で物事を決断できず、常に母親の意見や承認を最優先するタイプです。人生の重大な選択にも母親の顔色をうかがう傾向があり、パートナーよりも母親を立てるため、トラブルになりやすい特徴があります。

そういう分け方なら私は①だが、
理論実行型なので父親譲りであり・・・

「**根拠・事実・現実**」などの単語を毎日のように使っている

その根拠は・・・

その言葉の声は女性からのみであったりもしますが、
多少度を超えても男性は理解出来ているのでは

これは自慢話になりますが、
小学生の頃、家族内で訃報があった時に
知らぬところで布団の後片付けなど 自らやっていた
その気持ちは今も変わらない

ちなみに

欧州の男性は“日本基準”ならみんなマザコン？「**ママの誕生日に妻と結婚**」など